国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

令和８年11月９日
国土交通省関東地方整備局
営繕部

工事発注手続きについて

～「横浜税関南本牧埠頭検査センター（仮称）（２６）機械設備工事」を発注します～

関東地方整備局営繕部が発注する「横浜税関南本牧埠頭検査センター（仮称）（２６）機械設備工事」において、不調･不落対策等を試行、採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について、不調･不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「横浜税関南本牧埠頭検査センター（仮称）（２６）機械設備工事」については、以下のとおり不調･不落対策等を試行、採用します。

【不調･不落対策等】

１．公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）営繕評価型

２．競争参加資格の緩和

３．見積活用方式

４．余裕期間制度（発注者指定方式）

※詳細は次頁をご覧下さい。

＜発表記者クラブ＞
竹芝記者クラブ　都庁記者クラブ　神奈川県政記者クラブ　神奈川建設記者会　茨城県政記者クラブ　栃木県政記者クラブ　埼玉県政記者クラブ　千葉県政記者会　刀水クラブ・テレビ記者会　長野県庁会見場　長野市政記者クラブ　長野市政記者会　山梨県政記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 営繕部
電話：０４８－６０１－３１５１　FAX：０４８－６００－１３９５
技術・評価課　課長補佐　渡部（わたなべ）（内線５４５３）

＜工事概要について＞

（１）工事名：横浜税関南本牧埠頭検査センター（仮称）（２６）機械設備工事

（２）工事場所：神奈川県横浜市中区南本牧９－３

（３）工　　期：令和９年４月１日 から令和１０年３月２４日まで

（余裕期間：契約締結の翌日から令和９年３月３１日まで）

（４）入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）　営繕評価型

（５）工事種別：暖冷房衛生設備工事　Ａ等級又はＢ等級

（６）工事内容（概要）：Ｘ線検査センター、開披検査場、出口誘導員室

空気調和設備、換気設備、自動制御設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備、給湯設備、ガス設備　新設一式

■工事概要図



＜X線検査センター＞



＜開披検査場＞



＜出口誘導員室＞

＜不調･不落対策等＞

１．公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）営繕評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

１）競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

２）総合評価における加算点の評価対象は、同種工事の施工実績（**民間工事を含む**）、緊急時の施工体制、災害時の基礎的事業継続力の認定の有無、本発注工事の工事種別に

おける新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3）過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2．競争参加資格の緩和

（1）地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「神奈川県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「**関東地方整備局管内**」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業としています。

（2）対象等級の拡大

競争参加者数が少数と見込まれることから、対象等級をＡ等級から**Ａ等級又はＢ等級**に拡大します。

（3）企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績**（民間工事を含む）**を「空気調和設備又は給水設備の更新」に限定せず、「空気調和設備又は給水設備の**更新又は新設**」として緩和しています。

3．見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「各棟（Ｘ線検査センター、開披検査場、出口誘導員室）の給水設備「給水・一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管」及び空気調和設備の「冷媒用断熱材被覆銅管」、Ｘ線検査センター、開披検査場、出口誘導員室の空気調和設備、給水設備、排水設備、給湯設備、ガス設備の「ｽﾘｰﾌﾞ」」に係るもの

○見積の提出を求める理由

公共建築積算基準類に基づく価格と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

○見積価格書等が提出できない場合であっても、入札にあたって欠格などの不利益が生じるものではありません。

○「見積活用方式」で採用した見積単価は電子入札システムにおいて公表されます。

4．余裕期間制度（発注者指定方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約締結の翌日から令和９年３月３１日までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

＜スケジュール＞

○入札公告、入札説明書の交付　　：令和８年１１月９日（月）
○技術資料等の提出期限　　：令和８年１２月１日（火）
○入札書、工事費内訳書の提出期限　：令和９年１月２１日（木）
○開札日　　：令和９年１月２６日（火）

＜入札情報サービス（ＰＰＩ）＞

https://www.i-ppi.jp/IPPI/SearchServices/Web/Search/Search/Search.aspx?tab=3

① 工事名（文字列検索）に「横浜税関南本牧」を入力

② 公告日を「◉期間指定 2026/11/09」に指定⇒「検索開始」をクリック

公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について

【メリット】
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
  →資料の簡素化、合理化（個別発注時では不要）
- ✓ 手続期間の短縮
  →指名通知から決定まで2週間程度

【総合評価方式】
- ✓ 企業実績評価型
  →企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価
- ✓ 営繕評価型
  →営繕関係の工事において採用
- ✓ 自治体実績チャレンジⅡ型
  →技術力のある地域企業の新規参入を促すため、
  一部の工種において採用可とする。

